

パウダーレスインキ「キレイナ」の実力 (広告)

16. 後加工対応にパウダーレス印刷 [サンメッセ]

サンメッセ (株) (田中義一社長, 社員 724 人, 岐阜・大垣) は, プリプレスから, ポストプレスまでに至る設備を所有し, 一般商業印刷を中心に出版印刷, 厚紙, 包装印刷などさまざまな印刷を行っている, 自社で一貫生産を行える強みを持つ総合印刷会社である。

また, 主要都市に支店を持ち, 印刷のほかコンテンツ制作を行うなど幅広い分野を手掛けている岐阜県内でも有数の企業である。

後加工でパウダーが邪魔に

サンメッセが得意としている仕事の一つに DPS (デジタルプリントサービス) がある。これは, 4 色でオフセット印刷したものに, ナンバリングや名入れなどの可変情報を, トナー型のデジタル印刷機で追い刷りを行っている。また, 表面加工では, PP 貼りやニスコーティングも多い。

「これら追い刷りや後加工では, スプレーパウダーが悪さをし, また, 精密なデジタル印刷機のローラーなどの部品にパウダーが付着堆積し, 機械のメンテナンスが多いことも問題となっていました。」

そう答えるのは本社第 5 工場の山口良次工場長である。後加工不良の原因となるパウダーを除去するため, 同社では粉取りの空通しをしていた。翌日またはインキのセット乾燥後, 印刷機に再度その印刷物を通すことにより, そのパウダーがブランケットに転移付着して除去できるのである。パウダーの量により, 1 胴だけのときもあれば, 4 胴使う場合もあった。ロングランのときは, こ

の方法でも除去は難しいものもあった。印刷機を生産でなくパウダー除去に使わざるをえず, 生産効率改善に取り組んでいたという。

2014 年の初頭, メーカーからキレイナを提案され, 本社工場では当時まだ油性印刷しかしておらず, インキを入れ替えるだけだったので使ってみた。「当初は, インキの調子, 水幅がなく, ビーズが版面やブランケットにパイリング (堆積) したり, ロングランにも適さず, 使い続けるには難しいものがありました。」(高橋肇・本社工場副工場長兼印刷課課長)

その後, 厚紙のための菊全判 6 色 UV 印刷機を導入した。UV 印刷により, パウダー起因の後加工不良問題は解決したかに見えたが, 油性印刷していた仕事を UV 印刷に回すとコストが合わないことがすぐに見えた。

その間にキレイナはメーカーの改良が進み, 2014 年 8 月ごろから本社工場で本格的に採用されるようになった。そして, キレイナ採用後は印刷や後加工の品質が大幅に向上し, 「顧客からの



パウダーがなくなった, または少なくなったため, 掃除の回数, 時間が減った

クレームは, 皆無と言えるほどになりました。」(山口氏)

PP 貼りや DPS の仕事では現在, 「自社で決めた標準濃度を守れば, 紙にもよりますが, 4 色カラーものでも大半をパウダーゼロで印刷しています」(高橋氏)。

同社では, インキそのものもさることながら, トラブル時にメーカーの対応が早かったことを評価しているようだ。パウダーレスインキで先陣を切ったことが, トラブル対応でも早さを活かせたのだろう。

既設機可能のメリット

サンメッセの枚葉オフセット印刷は, 現在は UV 印刷と油性印刷の両方で行っている。UV 印刷は従来 UV が 2 台と高感度 UV が 1 台稼働。油性印刷は, 従来印刷と, 水なし印刷, そしてパウダーレス印刷がある。

キレイナは複数の印刷機で使用しているが, 全体のインキ使用量のまだ 1 割ほどだ。しかし, 今後「油性インキのすべてがキレイナになるのが理想です。」(伊東覚・取締役常務執行役員製造本部長) という考えもある。

キレイナの特長の一つは, 既存の機械と材料, 消耗品が使えることであると同社では捉えている。ブランケットもローラーも従来の油性インキと変

わらず使え, 資材の寿命への影響もない。「現場のオペレータからは, 特別な違いがあるという声はありません」(高橋氏) と言い, 現場はただパウダーを散布しないだけである。

やがてはすべての油性印刷においてキレイナの時代が来るかもしれないと思っているサンメッセ。しかし前述のように, まだ同社のメインのインキにはなっていない。その理由は価格だ。

同社は, 製造と購買が分かれており, 購買が価格交渉, 製品使用の決定を行う。パウダー使用量が減り, 購入金額が減ったが, キレイナの単価上昇分を補え切れない。購買は問題解決に必要な場合のキレイナの使用は良しとするが, 従来油性インキで問題のない仕事にも通常使用することでのコスト上昇を良しとはできない。

一方, 製造は直接金額に換算するのが難しいメリットを享受している。前述のように後加工に対しての手間やトラブルの削減, これまでもこの連載で紹介してきた, パウダーレスによる作業効率や工場環境の改善である。当然これらのメリットを足すと, インキ価格を簡単に取り戻せかつ大きなお釣りがくる。

もつとも, 使用量が増えれば同社はさらにキレイナの恩恵を享受し, メーカーは価格も努力する。これまで以上に, 両社の深い関係が続きそうだ。(つづく)

革新的なパウダーレスインキ「ベストワン KIRÉINA」誕生。

キレイナ印刷
キレイナ加工
キレイナ機械
キレイナ工場

BEST ONE
KIRÉINA

T&K TOKA

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>
TEL 049-258-1611(代表) 埼玉県入間郡三芳町竹間沢 283-1 〒354-8577